

児童園だより

第五号

平成二三年三月四日発行

伊達直人様他多数の方々よりご寄附をいただきました

タイガーマスク・伊達直人等を名乗る方よりの寄付が全国の児童養護施設に相次ぎ、いわゆる「タイガーマスク現象」としてテレビ報道等でも大変話題となりました。こちら松本児童園にも、去る一月十三日に伊達直人を名乗る方からのご寄附が郵送で届けられたのははじめとして、多くの方々よりご寄附をいただきました。

ランドセルや文房具などの他、様々な形でのご寄附をいただきました。子ども達にとって役立つものと、真心からの贈り物をしていただきました。また、添えられていたお手紙等からは、当園に暮らす子ども達を何らかの形で応援したいという純粋なお気持ち伝わってきました。職員一同大変に感謝しております。まことにありがとうございました。

ご寄附はありがたく頂戴し、子ども達の生活に最大限活かして参ります。このたびご寄附をいただいた方々に心より感謝いたしますとともに、このようにたくさんの方々に見守られ、応援していただいていることをこれからも子ども達に折に触れて伝え、そのことを励みとして子ども達がより前向きにがんばっていけるよう職員一同努力いたします。

また、日頃よりご寄附やボランティア等で児童園にご尽力いただいている方々に対しましても改めて感謝申し上げます。

今後、未永く当園の子ども達を見守り、応援をしていただければ幸いです。

伊達直人様他の皆様よりいただいたご寄附の具体的な内容については、

四ページ以降に目録を掲載しましたのでご参照ください。

十年のお付き合いになる美味しい笑顔

「先生、さんぼうよしさんもつじぎだね」「そうだね。楽しみだね」「何味のラーメン食べようかな」「私はやっぱり味噌ラーメン」「餃子も頼んでいい?」「最後はアイスも食べたいよね」等々・・・、毎年一月の下旬になると、こんな会話が園のあちらこちらで飛び交います。

松本市並柳にあるラーメン店『さんぼうよし』さんから、招待を受けるようになり、今年度で十年になります。「子ども達にラーメンをおなかいっぱい食べてもらいたい」ということで始まったこの招待は、こちらから園の子どもと職員がお店にうかがってごちそうになっているものです。年間を通じて様々な方が食事の面で当園に奉仕をしてくださっています。お店にうかがってというのはさんぼうよしさんのみで、子ども達にとっては外食の楽しみも味わえるひと時です。

当日は生活のグループごとに時間差でお店にうかがい、ラーメンをいただいています。実際のところはラーメンだけでなく「メニューに載っているものであれば、何でもござれ」と言われており、子ども達は餃子や野菜炒め、おにぎり等も個々の好みで注文させていただいています。更に子ども達の会話にも上がっていたように、デザートソフトクリームまでいただいで、大満足です。

ラーメンと言う食べ物には実に魅力的な食べ物で、ほとんどの人が好きな食べ物に挙げる一品だと思われれます。しかし園内での食事の現状では大人数への対応から、麺類それも伸び易いラーメンというのは、子ども達が大好きであるということが分かっていながらも、普段の食事のメニューには上げられずにいるものです。そういった面でも子ども達はこの日が来るのを心待ちにし、「こんばんわぁ」の声と共に店内に足を踏み入れています。どの顔も満足気な笑顔で溢れています。その笑顔のために手間暇をかけて奉仕して下さる「さんぼうよし」の皆さんに感謝しながらも、これからも長いお付き合いをさせていただければありがたいなと感じております。

中信地区里親会の方々と交流会

去る二月三日に中信地区里親会の方々と交流会が行われました。当日は里親会の方々に加えて松本児童相談所の方も参加されて、そばとうどんを打つ体験をしました。

この行事は十年以上前からの奉仕で、当時里親会の会長であった原史登さんと中島睦雄さんの発案で、そばとうどんを打つ体験と共に、自分たちで打った麺を子供達が食べる経験をさせたいという想いのもと始められたものです。

大きく分けての行程としては、粉を練る のす 切るという順番ですが、どれも慎重に行なうものです。原さんと中島さんに「指導を受けながら、一つ一つをていねいに行ない、どの顔も真剣そのものでした。子どもたちが特に真剣になるのは麺を切る時です。うどんはもちろんですが、そばは太すぎるとなんと味気なくなるので、周囲の大人たち（特に職員）は「細く！細くだよ！」と叫んでいます。そのプレッシャーがあるわけではありませんが、子どもたちは必死に集中して、丁寧に切っていきます。しかし出来上がりは太さもふた硬さもまちまちです。しかしみんなで感想を話し合い、和やかなムードで味わう手作りの麺は最高のようで、どの顔も満足気でした。

貴重な体験をありがとうございました。



伊達直人様他の皆様よりいただいたご寄附 目録(平成二十三年三月四現在)

一月十三日 伊達直人様 DVD三枚

一月十三日 歴史の好きな伊達直人様 歴史ゲーム・歴史定規 二本

一月十三日 伊達直人様 現金三五〇〇円 赤鉛筆五本

一月十三日 三名の方々 キッズギフトカード十万円

一月十三日 A御夫妻 衣類三十点(新品)

一月十三日 匿名希望の方(大町方面の方)

文房具他 二十三点 菓子 二十四袋 現金 五万円

一月十三日 専門学校の伊達直人様

現金 一万円 自由帳 十九冊 菓子 二袋

一月十四日 伊達直人様 ランドセル 二個 小座布団 二枚

一月十五日 A御夫妻 ランドセル 二個

一月十五日 伊達直人様 現金 五万円

一月十五日 伊達直人様

切りもち 五キログラム あんこ・きなこ 各三袋

一月十七日 アンパンマンのばあちゃん様

現金 二万円 タオル十枚 クレヨン四セット 鉛筆七ダース 落書帳三冊

一月十七日 タイガーマスク伊達直人様 現金二万円

一月十七日 おばあちゃんのタイガーマスク様 現金二万円

一月十七日 信州のタイガーマスク様 鉛筆一ダース

一月十八日 田舎の伊達直人様

クレヨン二箱 鉛筆六ダース 色鉛筆三箱 自由帳八冊 消しゴム六個

一月二二日 伊達直人の会様

ノート五十六冊 小版六十冊 シャープペンシルの芯

一月二三日 A御夫妻 衣類十点(新品)

一月二三日 ライト兄弟様 バルーンアート

一月二三日 東筑摩郡の伊達直人様 菓子二箱

一月二七日 B様 現金三万円 りんご

二月四日 C様 現金二万円

二月四日 一市民様 現金二万円

二月十四日 伊達直人様 チョコレート 三箱

注… A御夫妻・B様・C様は匿名での寄付ではありませんが、

個人情報保護の観点からお名前を伏せました。